

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■指導農業士 経営訪問研修会の開催

9月13日に揖斐地区指導農業士会主催で、会員の経営現場を訪問し、意見交換をする研修会を開催した。コロナの影響で3年ぶりの開催となり、関係機関等を含め14名の出席となった。

今年度はいちご生産者と花き生産者の2名の会員のほ場を訪問し、栽培状況や作業の苦労話などを聞くとともに、積極的に意見交換を行った。また、移動時間や休憩時間にも意見交換をする姿もあり、有意義な研修会となった。

農業普及課では、引き続き指導農業士活動を支援し、担い手育成を進めていく。



【訪問研修会の様子】

■新規就農者 就農面談および現地確認

8月下旬から9月にかけて、新規就農者9戸に対し新規就農者サポートチーム員（町、JA、農林事務所で構成）で町ごとに面談を実施した。半期ごとに提出される状況報告書をもとに、就農計画の目標と照らしあわせ実績や課題を確認した。農業情勢や気候変動等のマイナス要因もあり、目標の到達が困難ではあるが、全員が意欲を持ち経営に取り組んでいることが確認された。



【現地確認の様子】

■担い手 第3回アスパラガス帰農塾開講

揖斐地域では平成23年からアスパラガスの新産地化に向け、「アスパラガス帰農塾」を開催している。

9月10日に開催され、4名が出席した。農業普及課より、アスパラガスの収穫・調整・ほ場管理等について説明を行った後、大野町の生産者ほ場において、生産者から栽培状況等の説明を受け、出荷調整の実習を行った。

農業普及課では、今後も帰農塾を支援し、新規就農者の育成と産地拡大を進めていく。



【調整を行う受講生】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■いちご いちごシーズン開始に向けて

いちごの適期定植に向けて、定植時期を判断するための支援として、いちご花芽検鏡を9月9日～26日に実施した。今年は、長雨等の影響により、病害の発生が多く、健全な苗の育成に苦労した。花芽分化は、平年より1日早い9月17日となった。これから本ぼへの定植作業がピークを迎え、いちご栽培が本格化するため、引き続き産地の発展に向けた支援を継続する。



【花芽検鏡の様子】

■かき 新選果場稼働開始（西村早生柿出荷スタート）

9月8日、大野町果実共同選果場の開場式及び初共選が行われ、生産者、県議会議員、関係機関、選果場従事者など約100名が出席した。新しい選果機による作業性向上と品質向上が図られることで、「大野の柿」の更なるブランド化推進へと期待が高まった。

式典後、「大野の柿」のトップバッターである「西村早生」柿の選果が始まり、12月まで続く出荷がスタートした。

今年度は、夏の猛暑や多雨に遭いながらも順調に生育し、病害虫被害も少ない状況であり、平年以上の出荷量が期待される。

農業普及課は、今後の防除や栽培管理を指導し、生産者の所得向上につながるよう支援していく。



【選果場開場式の様子】

■茶 芽を大きく育てるために

9月9日に池田町において、葉面散布剤である「リダバイタル」の現地ほ場検討会が行われた。

「リダバイタル」は病害虫防除時の薬液調整の際に加えることで作業量を増やすことなく散布が可能となる。

池田町では秋冬茶より試験的に使用する予定で進めており、農業普及課では処理区の効果について確認していく予定である。



【現地ほ場検討会の様子】

中山間地域を守り育てる対策

■金ごま 有機農業実証ほ現地確認と検討会

県では有機農業推進のため、全農林事務所で有機農業推進プロジェクトチームの設立と実証ほの設置に取り組んでいる。揖斐地域では、5月に「金ごま」でプロジェクトチームと実証ほを設置し、栽培技術の確立と普及拡大に向けての検討を進めている。

8月25日に実証ほの現地検討会を開催し、生産者代表からは、金ごまを始めた経緯や目的（耕作放棄地解消、地域の特産品づくり）についての説明の他、ごまの栽培方法や、販売方法、有機栽培の課題等について検討を行った。今後、プロジェクトチームを主体に揖斐地域での生産振興を進めていく。



【検討会の様子】

地域資源を活かした農村づくり

■農業婦人クラブ 視察研修の開催

9月17日に、揖斐地区農業婦人クラブ連絡協議会の視察研修が開催された。農業婦人クラブでは毎年視察研修を計画し、加工品開発や活動の参考としているが、3年ぶりの開催となった。

今回、米原市甲津原で加工品等の製造を行っている「麻心」の加工部の取り組みを視察した。地域でとれた野菜を使用した商品開発の取り組みや、地域の協力を得ながら運営する喫茶の取り組みの説明を受け、加工品等を使用した山菜弁当で昼食をとった。参加者は熱心に話に聞き入り、加工部の取り組みについて積極的に質問され、有意義な研修となった。



【視察研修の様子】